| 3類型 | 農林水産物、鉱工業品 | 通巻番号 | 10－27－ 008 |
|---|---|---|---|
| 地域資源名 | マグロ、ソデイカ、クルマエビ、モズク、アーサ、ひじき、海ブドウ、島野菜、マンゴー他 ※ | 認定日 | 平成28年 2月 3日 |
| 地 域 | 沖縄県うるま市 | 所管省庁 | 農林水産省、経済産業省 |

# 事業名：沖縄県の地域資源（農水産物）を活用したインバウンド向け『ハラール対応』加工食品の開発と販路開拓拓

会社名：株式会社 食のかけはしカンパニー　所在地：沖縄県うるま市勝連南風原5192-27
(法人番号5360001018208)
連絡先：TEL：098-939-2050　ＨＰ：http://www.fc-kakehashi.jp/
FAX：098-989-5075

## 事業概要（地域産業資源の活用）

国産農水産物の中でも特色のある、亜熱帯性気候のもと育つ沖縄の野菜・果実、美しい海の恵みであるマグロ・モズクといった水産物を活用して、国内でも数少ないムスリム（イスラム教信者）をターゲットとしたハラール専用製造工場を有する当社が、加工工程における「無添加」「低添加」を強みとし、ハラール対応の『和惣菜』や『欧風おかず』『スイーツ』を開発・販売する。

今後急増が想定される日本全国並びに沖縄へのムスリム観光客滞在中のホテル・外食での食事、並びにお土産市場をターゲットとするとともに、将来的には東南アジアのムスリム市場に、『国産・沖縄産素材による本物の日本の食』として海外進出を図る。

【地域産業資源　マグロ】

## 新たな需要の開拓の見通し（市場性、販路、商品の特性）

◆市場性

近年急増中のムスリム訪日客は、2020年の東京オリンピックを契機にさらに加速すると予想される一方で、ハラール対応の食の提供は未整備といえる。また、経済成長著しい東南アジアのムスリム国においては、高付加価値の日本産・沖縄産食品へのニーズの高まりが顕在化している。

【製造工程】

◆需要の開拓の方針

首都圏・近畿圏のホテルや外食チェーン、沖縄県におけるホテル、MICEにおけるケータリング、宅配弁当、お土産市場を中心に開拓する。将来的には海外輸出、東アジアムスリム国への店舗収取自摸視野に入れる。

◆商品の特性

観光地としてムスリムに人気の高い沖縄の特色ある水産物、野菜、果実を使い、ハラール専用工場で無添加・低添加で製造し、ムスリムにとって安心かつ本物の食を提供する。

【沖縄県産マグロのスモーク】

## 地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

国際物流ハブ拠点化を目指す沖縄県の支援のもと、「国際物流拠点産業集積地域うるま地区」に本社工場を設立。県産素材として活用することで農林漁業者と連携するとともに、ムスリム客受け入れを推進する観光事業者と連携を図ることで地域経済に貢献する。

※地域資源名：　マグロ、ソデイカ、クルマエビ、モズク、アーサ、ひじき、海ブドウ、島野菜、パパイヤ、マンゴー、パインアップル、アセローラバナナ、タンカン、カーブチー、シークヮーサー、島とうがらし、ヒハツモドキ、沖縄の豆腐、沖縄の塩、沖縄黒糖